

第3期八千代市生涯学習推進計画 実施結果報告書（案）

八千代市教育委員会 生涯学習振興課

目 次

1	計画の概要	1
2	計画期間	1
3	総括評価の実施について	2
4	具体的な取組の評価結果について	3
基本目標1 市民の学びの支援		
1-1	市民のニーズに対応した学習機会の提供	5
基本目標2 学びを通じた交流と成果の還元		
2-2	学習成果を活用した交流の支援	23
2-3	団体活動の支援と学習成果の地域還元の促進	26
2-4	人材の育成・確保・活用の体制整備	29
基本目標3 市民の学びの環境整備		
3-5	生涯学習関係施設の整備・充実	35
3-6	情報提供の充実	37
基本目標4 地域社会と連携し、共に歩む教育への支援		
4-7	地域社会と連携した教育への支援	42

1 計画の概要

第3期八千代市生涯学習推進計画は、令和3年度から令和6年度までの4年間、基本理念である「一人ひとりが学びを深め、互いに成果を生かし合い、共に生きるまちやちよ」を実現するため、誰もが身近な場所で、学習活動に取り組める機会や情報提供の充実、施設整備など学習支援体制の充実を図るとともに、学びを通した市民相互の交流活動や得られた知識を地域社会に活かすことができるよう生涯学習を推進し、本市の生涯学習の現状と課題を踏まえ、生涯学習推進の基本的な考え方に加え、具体的な取組みを位置付け、本市の生涯学習に関する施策を総合的・効果的に推進する新たな方針として策定し、令和6年度をもって計画期間を満了しました。

2 計画期間

第3期八千代市生涯学習推進計画の計画期間は、令和3年度(2021)から令和6年度(2024)までの4年間でした。

また、令和7年度からは、「第4期八千代市生涯学習推進計画」がスタートしています。

	令和3 (2021)	令和4 (2022)	令和5 (2023)	令和6 (2024)	令和7 (2025)	令和8 (2026)	令和9 (2027)	令和10 (2028)	令和11 (2029)	令和12 (2030)
八千代市 総合計画基本構想	八千代市第5次総合計画 基本構想 【令和3年度～令和10年度】									
八千代市 総合計画基本計画	八千代市第5次総合計画 前期基本計画 【令和3年度～令和6年度】				八千代市第5次総合計画 後期基本計画 【令和7年度～令和10年度】					
八千代市 教育振興基本計画	第2期 【令和3年度】	第3期八千代市教育振興基本計画 【令和4年度～令和6年度】			第4期八千代市教育振興基本計画 【令和7年度～令和12年度】					
八千代市 生涯学習推進計画	第3期八千代市生涯学習推進計画 【令和3年度～令和6年度】				第4期八千代市生涯学習推進計画 【令和7年度～令和12年度】					

3 総括評価の実施について

第3期八千代市生涯学習推進計画では、本市の生涯学習に関する施策を総合的・効果的に推進するため、具体的な取組項目を位置付けました。

計画期間の満了に伴い、各取組についての結果や評価について以下の項目について各推進部署へ照会を行い、実施状況と自己評価を実施しました。

本報告書では、終了した第3期八千代市生涯学習推進計画における取組項目の評価を実施することにより、すでにスタートしている第4期八千代市生涯学習推進計画における取組の実施内容や方向性の検討などに資することを目的としています。

【令和6年度取組結果について】

令和6年度の実施内容及び評価を記載しています。

【指標について】

指標を設定している取組については、計画目標値及び実績を記載しています。

【総括評価について】

各取組について実施部署において、計画期間における実績を次の3段階で自己評価を行いました。また、評価の理由及び総括を記載しています。

「A 計画策定時の想定を上回った。」

「B 概ね計画どおり実施した。」

「C 計画策定時の目標を達成できなかった。」

【今後の方向性や課題について】

令和7年度以降の取組の方向性や実施内容(第4期八千代市生涯学習推進計画での取組等)、課題等について記載しています。

4 具体的な取組の評価結果について

① 総括評価の結果

具体的な取組の総括評価結果 49項目・55件

評 価	取組件数
A 計画策定時の想定を上回った	0 件
B 概ね計画どおり実施した	3 0 件
C 計画策定時の目標を達成できなかった	2 5 件
合 計	5 5 件

② 指標の達成状況

指標を設定している取組 30項目・33件(再掲は除く)

達成状況	取組件数
目標を達成した	5 件
目標を達成できなかった	2 8 件
合 計	3 3 件

●目標を達成した取組

整理番号	具体的な取組	指標
1 - 1 - ㉔(2)	身近な消防啓発の充実 (推進部署：警防課)	応急手当普及率
1 - 1 - ㉕	救命技術教育の推進	救命体験の開催校数
2 - 4 - ㉖	里山整備ボランティアの育成	里山楽校（里山整備ボランティア人材育成講座）の参加者数
3 - 5 - ㉗	電子決済サービスの提供 (キャッシュレス化)	生涯学習施設及び社会教育施設における電子決済サービス導入数
4 - 7 - ㉘	防災教育の推進	防災教育の実施校数

■具体的な取組項目一覧表■

整理番号	具体的な取組	頁
1-1-①	まちづくりふれあい講座の充実	5
1-1-②	家庭教育の支援の充実	6
1-1-③	ふれあい教室の充実	7
1-1-④	オンラインを活用した学びの充実	7
1-1-⑤	総合生涯学習プラザ主催事業の充実	8
1-1-⑥	公民館主催事業の充実	8
1-1-⑦	子ども読書活動の推進	9
1-1-⑧	ブックスタートの推進	9
1-1-⑨	図書館主催事業の充実	10
1-1-⑩	レファレンスサービスの充実	11
1-1-⑪	八千代台東南公共センター主催事業の実施	11
1-1-⑫	伝統文化・伝承文化の継承促進	12
1-1-⑬	郷土博物館主催事業の充実	13
1-1-⑭	博学連携の推進	14
1-1-⑮	市民のニーズに対応した防災訓練の実施	14
1-1-⑯	消費者教育事業の推進	15
1-1-⑰	ふれあい大学校の充実	16
1-1-⑱	高齢者の健康づくりの推進	16
1-1-⑲	健康づくり学習事業の実施・支援	17
1-1-⑳	環境保全意識の普及・啓発	18
1-1-㉑	ごみの減量化・リサイクル推進等の啓発事業の実施	19
1-1-㉒	身近な消防啓発の充実	20
1-1-㉓	救命技術教育の推進	22
2-2-①	公民館まつりの開催及び内容等の検討	23
2-2-②	ニューリバーロードレース in 八千代の開催	24
2-2-③	コミュニティワールドカップサッカーin 八千代の開催	24
2-2-④	放課後子ども教室の推進	25
2-3-①	【再掲】ふれあい教室の充実	26
2-3-②	青少年学校外活動支援事業の推進	27
2-3-③	八千代市ボランティア・市民活動推進センターの運営に対する補助	28
2-4-①	【再掲】まちづくりふれあい講座の充実	29
2-4-②	【再掲】ふれあい教室の充実	30
2-4-③	バラの植栽管理講習会の実施	30
2-4-④	青少年団体指導者養成講座（友・遊・カレッジ）の実施	31
2-4-⑤	生涯学習ボランティアバンク制度の活用推進	32
2-4-⑥	やちよ元気体操応援隊の養成と活動支援	33
2-4-⑦	農業ボランティア推進事業の充実	33
2-4-⑧	里山整備ボランティアの育成	34
3-5-①	生涯学習関係施設の整備・改善	35
3-5-②	郷土博物館展示事業	35
3-5-③	電子決済サービスの提供	36
3-6-①	【再掲】オンラインを活用した学びの充実	37
3-6-②	生涯学習情報提供システムの充実	38
3-6-③	生涯学習相談窓口の充実	39
3-6-④	市民の知的活動や創造的活動を支援するサービスの充実	40
3-6-⑤	多文化交流センター事業の推進	40
3-6-⑥	子育て支援における情報提供の充実	41
4-7-①	学校運営協議会及び地域学校協働本部の設置・推進・支援	42
4-7-②	防災教育の推進	43

基本目標1 市民の学びの支援

基本方針1-1 市民のニーズに対応した学習機会の提供

○各取組の総括評価結果

23項目 27件

A 計画策定時の想定を上回った	0件
B 概ね計画どおり実施した	13件
C 計画策定時の目標を達成できなかった	14件

【1-1-①】まちづくりふれあい講座の充実						
■ 具体的な取組の概要						
推進部署	生涯学習振興課					
取組概要	市職員が市民グループの講座等へ出向き、市の事業や施策について話をする。また、新たな講座の追加や実施期間の拡充などを担当部署に働きかけるとともに、広報活動を推進する。 〈実施する講座例〉八千代市の財政状況、市税のはなし、やちよの自然発見 等					
■ 令和6年度取組結果						
実施内容	各所属への登録講座調査、パンフレット(1,600 部)作成・配布、市民への周知、講座受講希望者と担当課の調整・派遣、実績把握調査を実施した。また、講座数は前年度と同数の 68 講座となった。					
実施内容に対する評価	計画どおり実施した。 (理由)各担当課の協力により計画通り実施することができたため。					
■ 指 標						
指 標	まちづくりふれあい講座の講座数				計画目標値	70 講座
実績値	R 元年度末	R2 年度末	R3 年度末	R4 年度末	R5 年度末	R6 年度末
	65 講座	65 講座	67 講座	67 講座	68 講座	68 講座
■ 総 括 評 価						
実績評価	C 計画策定時の目標を達成できなかった。					
評価についての理由及び総括	新規講座の開設は、人員体制等の理由により難しい状況であり、講座数の増加に繋がらなかった。					
■ 今後の方向性や課題						
各部署との調整・連絡を密に行うとともに、今後もより多くの方に利用してもらえるよう、制度周知に努め、本制度の活用促進を図っていく。第4期の目標値は、受講者数の増加に変更した。						

【1-1-②】家庭教育の支援の充実			
■ 具体的な取組の概要			
推進部署		(1)生涯学習振興課 (2)公民館	指標の有無
(1)生涯学習振興課	取組概要	子育てや、しつけ等家庭教育のあり方を学ぶ機会として、家庭教育講演会を開催し、家庭教育を支援します。 〈実施する事業例〉 保護者のための子育て講座、親学講座 等	
	■ 令和6年度取組結果		
	実施内容	・第1回家庭教育講演会 令和6年6月27日(木)参加者 50人 講師:市川市・八千代市・船橋市巡回相談員、臨床発達心理士 早川 淳子 氏 テーマ:「子どもを理解する視点を広げよう～感覚統合・心の理論～」 対象者:主に就学前から小中学生の子を持つ保護者、その他家庭教育に関心のある方 ・第2回家庭教育講演会 令和6年11月13日(水)参加者 48人 講師:元八千代市立学校栄養教諭 江波戸 史子 氏 テーマ:「夢をかなえる食生活～食事で変わる子どもの未来～」 対象者:主に小中学生の子を持つ保護者、その他家庭教育に関心のある方	
	実施内容に対する評価	計画どおり実施した。 (理由)各担当課の協力により計画通り実施することができたため。	
	■ 総括評価		
	実績評価	B 概ね計画どおり実施した	
	評価についての理由及び総括	年2回の家庭教育講演会を開催することができ、アンケートの内容を反映し、講座の内容や周知方法等に反映した。また、スマートフォンから、いつでも申し込めるように電子申請を導入した。	
	■ 今後の方向性や課題		
	アンケート等から市民のニーズをくみ取り、家庭教育講演会により関心を持ってもらうことで、今後も参加者の増加につなげていく。		
(2)公民館	取組概要	家庭教育のあり方の学習や、保護者同士の交流の機会として、家庭教育事業を推進し、学習機会の充実を図ります。 〈実施する事業例〉 1歳児親子学級、親のための思春期講座 等	
	■ 令和6年度取組結果		
	実施内容	・市内9公民館で「1歳児親子学級」を開催した。(9学級・延べ参加人数1,205人) ・市内5公民館で1歳児未満から中学生までの親子や子どもの保護者を対象とした家庭教育学級及び家庭教育講座を開催した。(14講座・延べ参加人数352人)	
	実施内容に対する評価	計画どおり実施した。 (理由)生涯学習振興課に所属の家庭教育指導員等と連携し、親子や保護者を対象とした家庭教育に関する学習機会等を提供する事業内容を実施できた。	
	■ 総括評価		
	実績評価	B 概ね計画どおり実施した	
	評価についての理由及び総括	生涯学習振興課に所属の家庭教育指導員等と連携し、親子や保護者を対象とした家庭教育に関わる多くの学習機会を提供することができた。	
	■ 今後の方向性や課題		
	現状を継続しつつ、緑が丘西や村上南地区、ゆりのき台など公民館が配置されていない地域においての親子や保護者を対象とした家庭教育に関する学習機会等を提供できるように検討したい。		

【1-1-③】ふれあい教室の充実						
■ 具体的な取組の概要						
推進部署	生涯学習振興課					
取組概要	ボランティア指導者が物づくりや昔遊び等を通して、知恵や技能を若い世代に伝え、交流を深めるふれあい教室の充実を図るための支援を行います。 〈実施する教室例〉 折り紙教室, わら工芸教室 等					
■ 令和6年度取組結果						
実施内容	ボランティア団体を市内の小学校や学童保育所、保育園等に派遣し、指導を通して世代間や地域の交流の場を提供した。					
実施内容に対する評価	計画どおり実施した。 (理由)世代間での交流の場を提供し、地域活動への参加推進や学習機会の充実に繋がった。					
■ 指 標						
指 標	ふれあい教室開催回数				計画目標値	130回
実績値	R 元年度末	R2 年度末	R3 年度末	R4 年度末	R5 年度末	R6 年度末
	117 回	9 回	25 回	39 回	52 回	59 回
■ 総 括 評 価						
実績評価	C 計画策定時の目標を達成できなかった。					
評価についての理由及び総括	計画期間中は、毎年実施回数が増えているが、コロナ禍以前との比較では半数程度になっている。実施団体の減少のほか、継続している団体についても実施可能日が減少していることなどが原因と考えられる。					
■ 今後の方向性や課題						
実施団体が継続できるよう、ボランティア指導者の増加を図るため、会員募集等を周知する。						

【1-1-④】オンラインを活用した学びの充実						
■ 具体的な取組の概要						
推進部署	生涯学習振興課					
取組概要	いつでもどこでも学習ができるオンラインを活用した講座等を配信することで、学びの充実に努めます。 〈実施する講座例〉 歴史講座, 健康講座, 俳句講座 等					
■ 令和6年度取組結果						
実施内容	令和6年度新規配信開始 WEB 講座数 1 講座 令和6年度新規配信 WEB 講座総視聴回数 144 回 総視聴回数 35,557 回					
実施内容に対する評価	計画の一部を実施した。 (理由)新規の WEB 講座を公開したが、目標値を下回っているため。 動画の作成に必要な知識や技能を持った職員が少なく、新規の講座があまり増えていないため。					
■ 指 標						
指 標	オンラインによる講座の配信数				計画目標値	40 回
実績値	R 元年度末	R2 年度末	R3 年度末	R4 年度末	R5 年度末	R6 年度末
	－	－	16 回	7 回	5 回	1 回
■ 総 括 評 価						
実績評価	C 計画策定時の目標を達成できなかった。					
評価についての理由及び総括	YouTube アカウントを新規に作成し、WEB 講座の作成に努めたが、動画作成の知識や技能が少ないため講座数を増やす目標が達成できなかった。					
■ 今後の方向性や課題						
市が実施するオンライン講座のニーズや在り方を検討していく。						

【1-1-⑤】総合生涯学習プラザ主催事業の充実						
■ 具体的な取組の概要						
推進部署	生涯学習振興課					
取組概要	継続的な学習により、深い知識の習得と仲間づくりの促進を進める市民カレッジ等の主催事業を開催し、地域社会の活性化につなげます。 〈実施する事業例〉語学講座、歴史講座、子ども書初め講座 等					
■ 令和6年度取組結果						
実施内容	・子ども書き初め講座 参加者数:12 人 ・はじめてのスマホ教室 参加者数:12 人 ・スポーツ栄養学教室 参加者数:9 人 ・市民カレッジ「歴史講座～八千代市の歴史と伝承～」全 3 回 参加者数:延べ 62 人					
実施内容に対する評価	計画の一部を実施した。 (理由)講座参加人数が目標値を下回っているため。					
■ 指 標						
指 標	講座の参加人数				計画目標値	500 人
実績値	R 元年度末	R2 年度末	R3 年度末	R4 年度末	R5 年度末	R6 年度末
	259 人	178 人	263 人	132 人	134 人	95 人
■ 総 括 評 価						
実績評価	C 計画策定時の目標を達成できなかった。					
評価についての理由及び総括	新型コロナウイルス感染症の影響により、大規模な講座を開催することが難しかったため。また、小人数で行える講座を企画したが、講座の開催回数が少なかったことから、目標値を達成することができなかった。					
■ 今後の方向性や課題						
市民のニーズを的確に把握し、各年代に対応できる講座の開催の開催に努める。 民間企業や教育機関、団体等との連携を活かした講座やボランティアバンク制度の講師を活用した講座の実施を進めていく。						

【1-1-⑥】公民館主催事業の充実	
■ 具体的な取組の概要	
推進部署	公民館
取組概要	子どもから高齢者まで、幅広い世代を対象とした各種の講座・イベントを開催します。また、関係機関等と連携し、多様な学習機会の提供に努めます。 〈実施する事業例〉 夏休み子ども教室、親子料理教室、健康講座 等
■ 令和6年度取組結果	
実施内容	市内9民館で、青少年、親子、高齢者など幅広い世代を対象とした主催講座を開催した。 (172講座・総回数 336回・延べ参加人数 4,699人)
実施内容に対する評価	計画どおり実施した (理由)各公民館において、地域性や市民ニーズに対応した事業を計画し主催講座を開催した。一部の講座において、募集定員割れ等の講座が生じてはいるが、それぞれの館が計画している内容については、切磋琢磨している努力がうかがえた。
■ 総 括 評 価	
実績評価	B 概ね計画どおり実施した。
評価についての理由及び総括	各公民館において、地域性や市民ニーズに対応した事業を計画し主催講座を開催した中で、それぞれの館がアイデアや特性を上手く取入れて講座を行った。
■ 今後の方向性や課題	
引き続き市民ニーズや地域の特性に準じた講座を開催するとともに、NPO法人や民間企業の協力のもと、より充実した内容の講座を推進する。	

【1-1-⑦】子ども読書活動の推進	
■ 具体的な取組の概要	
推進部署	図書館
取組概要	さまざまな読書の機会を提供し、子どもの読書活動を推進します。 〈実施する事業例〉読書環境の充実、絵本の読み聞かせ講座
■ 令和6年度取組結果	
実施内容	・「第3次八千代市子ども読書活動推進計画」に位置づけた「具体的な取組」について、令和5年度の進捗状況を調査した。 ・令和7年度から令和12年度を計画期間とする「第4次八千代市子ども読書活動推進計画」を策定した。
実施内容に対する評価	計画どおり実施した (理由)令和5年度の進捗状況調査を実施し、「第4次八千代市子ども読書活動推進計画」を策定したため。
■ 総括評価	
実績評価	B 概ね計画どおり実施した。
評価についての理由及び総括	第2次及び第3次八千代市子ども読書活動推進計画の進捗状況を調査した。また第3次及び第4次八千代市子ども読書活動推進計画を国や県・他市の状況を調べ策定した。
■ 今後の方向性や課題	
前年度の「八千代市子ども読書活動推進計画」の進捗状況調査を実施する。 令和13年度からを計画期間とする次期八千代市子ども読書活動推進計画を策定し、推進を図る。	

【1-1-⑧】ブックスタートの推進	
■ 具体的な取組の概要	
推進部署	図書館
取組概要	満1歳までのお子さんがいる家庭を対象に、図書館の窓口で絵本を贈るブックスタート事業を実施し、家庭での絵本を介した親子の言葉かけやスキンシップの大切さを伝えます。〈実施する事業例〉〈実施する事業例〉ブックスタート絵本の配布、講座の開催等
■ 令和6年度取組結果	
実施内容	・ブックスタート絵本を各図書館の窓口で869冊配布し、絵本を介した親子のコミュニケーションについて周知を図った。 ・各図書館の状況に応じて乳幼児とその保護者を対象とした講座等を実施した。
実施内容に対する評価	計画どおり実施した (理由)対象者にブックスタート絵本を配布し、家庭での絵本を介した親子のコミュニケーションについて周知を図ったため。また、乳幼児とその保護者を対象とした講座等を実施したため。
■ 総括評価	
実績評価	B 概ね計画どおり実施した。
評価についての理由及び総括	対象者にブックスタート絵本を配布し、家庭での絵本を介した親子のコミュニケーションについて周知を図り、乳幼児とその保護者を対象とした講座等を実施した。
■ 今後の方向性や課題	
引き続き図書館の窓口で、対象者に絵本とブックリストが入ったブックスタートセットを配布する。また乳幼児とその保護者を対象とした講座等を開催する。	

【1-1-⑨】図書館主催事業の充実	
■ 具体的な取組の概要	
推進部署	図書館
取組概要	<p>図書資料、インターネットを活用した講座や親子で参加できるイベントのほか、児童対象のおはなし会や講座等を充実させるとともに、図書館見学、職場体験学習など学校と連携した活動を推進し、読書普及活動の充実を図ります</p> <p>〈実施する事業例〉 親子で楽しむ絵本の会、おはなし会、工作会 等</p>
■ 令和6年度取組結果	
実施内容	<ul style="list-style-type: none"> ・ボランティア等を活用しながら、乳幼児を対象とした、赤ちゃんを楽しむ絵本の会及び親子で楽しむ絵本の会を開催した。 ・保育園と連携を図り、保育園おはなし会を実施した。 ・児童を対象とした、おはなし会及び工作会を開催した。 ・学校と連携を図り、総合学習の一環として出張事業等を行った。 ・高校生を対象とした、読み聞かせ指導を行った。 ・成人を対象とした図書館教養講座を開催した。
実施内容に対する評価	<p>計画どおり実施した</p> <p>(理由)定期的に開催している行事に加え、季節に合わせた行事を計画・開催した。また、学校との連携を図り、総合学習のための出張授業等を行ったため。</p>
■ 総 括 評 価	
実績評価	B 概ね計画どおり実施した。
評価についての理由及び総括	<p>乳幼児などの小さな子どもから学生・大人までを対象とした幅広いイベント・行事・講座を開催した。また、読書離れしやすい学生については学校との連携を図り、総合学習の一環として出張事業等を行った他、高校生を対象とした読み聞かせ指導を行った。</p>
■ 今後の方向性や課題	
<p>引き続きボランティア等を活用しながら、乳幼児を対象にした「親子で楽しむ絵本の会」、「親子で楽しむわらべうたの会」や、児童対象のおはなし会等を開催し、保育園や学校との連携を深めた活動を実施して、子どもの読書の普及に努める。</p> <p>また、成人を対象にした図書館教養講座や、ボランティアを支援する「絵本の読み聞かせ講座」、図書館利用や資料の活用方法等の講座等を行う。</p>	

【1-1-⑩】レファレンスサービスの充実						
■ 具体的な取組の概要						
推進部署	図書館					
取組概要	市民の学びを支援するため、レファレンスサービスの周知を図るとともに、調べ方案内等の整備を行うほか、図書資料や電子資料、インターネットを活用したレファレンスを行います。 〈実施する事業例〉課題解決資料の収集、調べ方案内のリーフレット作成・更新、学習支援 等					
■ 令和6年度取組結果						
実施内容	・課題解決に役立つ資料の収集、講座による学習支援を行った。 ・調べ方案内等のリーフレットやリンク集の作成、見直しを行った。 ・利用者のニーズに応じたレファレンスサービスを実施した。					
実施内容に対する評価	計画の一部を実施した。 (理由)昨年度より、レファレンスサービスの利用件数を増やすことができたが、目標値に届かなかったため。					
■ 指 標						
指 標	年間レファレンス受付件数				計画目標値	16,500 件
実績値	R 元年度末	R2 年度末	R3 年度末	R4 年度末	R5 年度末	R6 年度末
	8,939 件	2,598 件	4,680 件	5,906 件	7,433 件	8,308 件
■ 総 括 評 価						
実績評価	C 計画策定時の目標を達成できなかった。					
評価についての理由及び総括	課題解決に役立つ資料の収集、講座による学習支援を行い、調べ方案内等のリーフレットやリンク集の作成、見直しを行った。 利用者のニーズに応じたレファレンスサービスを実施したが、コロナ禍後レファレンス件数を増やすことができなかった。					
■ 今後の方向性や課題						
引き続き課題解決に役立つ資料の収集、講座等による学習支援を行う。また調べ方案内等のリーフレットやリンク集を必要に応じて作成し、定期的に更新を行う。						

【1-1-⑪】八千代台東南公共センター主催事業の実施						
■ 具体的な取組の概要						
推進部署	八千代台東南公共センター					
取組概要	施設の特長を生かした事業を実施し、市民のコミュニティ活動の推進、教養の向上及び社会教育の振興を図ります。 〈実施する事業例〉ウォーキング講座・小学生春休み将棋大会					
■ 令和6年度取組結果						
実施内容	実施なし					
実施内容に対する評価	実施できなかった。 (理由)施設の特性を活かす内容での講座は実施したが、公共センター主催としての事業を実施しなかったため。					
■ 指 標						
指 標	公共センター主催事業数				計画目標値	3 事業
実績値	R 元年度末	R2 年度末	R3 年度末	R4 年度末	R5 年度末	R6 年度末
	0 事業	0 事業	0 事業	2 事業	2 事業	0 事業
■ 総 括 評 価						
実績評価	C 計画策定時の目標を達成できなかった。					
評価についての理由及び総括	令和6年度において、施設の特性を活かす内容での講座は実施したが、公共センター主催としての事業を実施しなかった。					
■ 今後の方向性や課題						
計画の段階から、施設の特性を活かす内容の講座が実施できるよう努める。						

【1-1-⑫】 伝統文化・伝承文化の継承促進						
■ 具体的な取組の概要						
推進部署	文化伝承館					
取組概要	日本の伝統文化と八千代に残る伝承文化を学習・体験できる機会を提供し、次世代への継承を促進します。 〈実施する事業例〉八千代伝承文化講座、茶道入門講座、日本舞踊体験、子ども邦楽教室 等					
■ 令和6年度取組結果						
実施内容	伝統文化学習として「子ども邦楽教室」や伝承文化学習として「紙芝居と昔話の会」等を実施した。 ・伝統文化学習 子ども邦楽教室 14 回 合計 308 人、子ども日舞入門 5 回 合計 36 人、茶道教室 6 回 合計 102 名 ・伝統文化に親しむ会 重陽の節供におくる邦楽演奏会 1 回 25 人 ・伝承文化学習 紙芝居と昔話の会 8 回 合計 212 人、八千代の民俗文化再発見 1 回 12 名					
実施内容に対する評価	計画どおり実施した。 (理由)昨年度実施した事業に加えて、新たに子ども日舞入門を開催し、伝統文化の学習をさらに広めることができた。					
■ 指 標						
指 標	文化伝承館主催事業参加者数				計画目標値	3,600 人
実績値	R 元年度末	R2 年度末	R3 年度末	R4 年度末	R5 年度末	R6 年度末
	3,316 人	0 人	120 人	484 人	674 人	695 人
■ 総 括 評 価						
実績評価	C 計画策定時の目標を達成できなかった。					
評価についての理由及び総括	新型コロナウイルス感染症の影響で、利用者数が大きく減じてしまった。しかし、流行がおさまってからは、徐々に事業数を増やしてきている。					
■ 今後の方向性や課題						
講座ごとに、指導する団体と協力しながら、事業の見直しや拡大を行っていく。						

【1-1-⑬】郷土博物館主催事業の充実						
■ 具体的な取組の概要						
推進部署	郷土博物館					
取組概要	市民のニーズに応えられるよう、講座や講演会等を充実させます。 〈実施する事業例〉古文書講座、自然観察会、文化財散歩 等					
■ 令和6年度取組結果						
実施内容	主催事業として、企画展関連事業、八千代の民俗行事、古文書講座、やち博講座、文化財散歩、体験講座、子ども講座・体験教室などを 実施した。ほか、自然観察会、文化財散歩等を 実施した。 ・企画展関連事業 講演会1回 43人、展示解説会3回 合計29人 ・八千代の民俗行事 ワラヘビづくり講座1回 23人 ・古文書講座 入門編3回 合計86人、初級編2回 合計73人、 中級編1回 合計36人、番外編1回 雨天中止 ・やち博講座 4回 合計172人 ・博物館上映会 1回 13人 ・観察会 自然観察会1回 14人、文化財散歩2回 合計46人 ・体験講座 篆刻講座1回 42人、植物標本づくり講座1回 32人、 竹細工講座1回 23人 ・子ども講座 昔遊び体験(5/3～6) 合計86人、博物館シアター1回 46人 ・子ども体験教室 竹細工づくり体験1回 27人、土器づくり体験1回 34人、 昔の道具体験1回 18人 講師派遣 公民館や市民団体等に17件 合計388人					
実施内容に対する評価	計画の一部を実施した。 (理由)古文書関連の講座については、資料の整理事業などとの兼ね合いから、回数を減らした一方で、新たな事業の開催を計画した。ただし、令和6年度は雨天により中止となった。その他の講座は、おおむね前年度と同程度の規模での開催となった。					
■ 指 標						
指 標	講座参加者数				計画目標値	2,300人
実績値	R元年度末	R2年度末	R3年度末	R4年度末	R5年度末	R6年度末
	1,975人	938人	1,300人	1,296人	1,465人	1,231人
■ 総 括 評 価						
実績評価	C 計画策定時の目標を達成できなかった。					
評価についての理由及び総括	事業の見直しや講座の増減などの影響で、目標達成にはいたらなかった。館蔵資料の整理の作業の進捗や、職員の体制から考えるに、この数を大きく増やすことは難しいと考える。					
■ 今後の方向性や課題						
今後も、他の事業との兼ね合いから、講座の数を大きく増やし、以前の水準に戻すことは難しいと考える。ただ、新たな講座の開設を検討し、実現できるよう、他館や他施設における講座の開設状況を鑑みつつ、市民のニーズに応えられるよう、対応を重ねていく。						

【1-1-⑭】博学連携の推進						
■ 具体的な取組の概要						
推進部署	郷土博物館					
取組概要	学校対応メニューの開発, 児童・生徒向けのワークシートの作成, 歴史等を学ぶフィールドワークの実施を通して, 博学連携を推進します。 〈実施する事業例〉学校と連携した博物館利用促進, 学校対応メニュー開発 等					
■ 令和6年度取組結果						
実施内容	博学連携事業として, 館内見学, 出前授業などを実施した 。 館内見学 14 件 839 名 出前授業 34 件 2,855 名 職場体験 6 件 24 名					
実施内容に対する評価	計画どおり実施した。 (理由)昨年度よりも依頼件数が増加しており, 市内のみならず, 市外からも依頼があった。					
■ 指 標						
指 標	学校の延べ利用団体数				計画目標値	32 校
実績値	R 元年度末	R2 年度末	R3 年度末	R4 年度末	R5 年度末	R6 年度末
	30 校	21 校	20 校	19 校	41 校	19 校
■ 総 括 評 価						
実績評価	B 概ね計画どおり実施した。					
評価についての理由及び総括	新型コロナウイルス感染症の流行以降は, 多くの校外学習や出前授業について対応することができた。また, 八千代市のみならず, 周辺自治体の学校対応も行い, 今まで以上に多くの学校に対応することができた。					
■ 今後の方向性や課題						
今後は, 市内小中学校の対応を充実させ, 様々な依頼に対応していく。令和7年度から学校職職員が不在となったため, 今後は教員出身でなくとも, 学校対応可能なプログラム作りを念頭に置き, 事業を継続していく。						

【1-1-⑮】市民のニーズに対応した防災訓練の実施						
■ 具体的な取組の概要						
推進部署	危機管理課					
取組概要	地域の特性に応じた防災訓練を実施することで、市民の防災知識及び防災行動力を高めるとともに地域防災力の向上を図ります。 〈実施する訓練例〉地震災害対応訓練、風水害対応訓練 等					
■ 令和6年度取組結果						
実施内容	自主防災組織を始め市民団体、事業者などに対し、防災訓練や講話を通し、防災の意識・知識の向上を図り、市民への啓発を行った。					
実施内容に対する評価	計画どおり実施した。 (理由)概ね計画どおり実施することができたが、雨天時や熱中症警戒アラートが発令された際、屋外での訓練は中止としているため予定した回数より多少少なくなってしまった。					
■ 指 標						
指 標	防災訓練の実施回数				計画目標値	80 回
実績値	R 元年度末	R2 年度末	R3 年度末	R4 年度末	R5 年度末	R6 年度末
	49 回	12 回	27 回	36 回	63 回	72 回
■ 総 括 評 価						
実績評価	C 計画策定時の目標を達成できなかった。					
評価についての理由及び総括	令和 3, 4 年度については新型コロナウイルス感染症の影響もあり、各自主防災組織等も活動を自粛していたためか、計画どおり訓練等の実施をすることはできなかった。令和 5 年度以降は活動が再開してきた団体も増え、令和 5, 6 年度については概ね計画どおり実施することができた。					
■ 今後の方向性や課題						
第4期八千代市生涯学習推進計画においても引き続き取組として位置づけ、自主防災組織や自治会を始め市民団体、教育機関、事業所などそれぞれのニーズにあった防災訓練や講話を実施できるよう努めたい。						

【1-1-⑩】消費者教育事業の推進						
■ 具体的な取組の概要						
推進部署	消費生活センター					
取組概要	市内の各種団体や学校等が開催する消費者教育講座に、消費生活専門相談員、消費生活アドバイザーや外部講師等を派遣し、消費者被害の減少を図るなど、被害の防止に向けた消費者意識の向上と自立支援を推進します。 〈実施する事業例〉消費者問題出前講座、啓発冊子配布 等					
■ 令和6年度取組結果						
実施内容	消費者被害防止のための各種啓発冊子等を市内の公共施設に配布し啓発に努めた。また、市ホームページ、市公式LINE、情報メール及び広報紙等に、消費者被害に関する啓発記事を掲載し注意喚起を図った。 啓発講座については2回開催した。(延べ60人) ①八千代市民生委員会高齢者部会(39人) ②ふれあい大学OB会(21人)					
実施内容に対する評価	計画どおり実施した。 (理由)消費者被害防止のため各種啓発冊子等を市内の公共施設に配布するとともに、消費者被害情報等について市ホームページをはじめ、新たに公式LINEや情報メールを活用し、多発する被害状況に応じ、速やかに注意喚起を行った。 啓発講座については、消費生活相談員の欠員を解消したことにより、複雑、多様化する消費生活相談の対応の中、開催することができた。					
■ 指 標						
指 標	消費者問題出前講座の参加者数				計画目標値	200人
実績値	R元年度末	R2年度末	R3年度末	R4年度末	R5年度末	R6年度末
	124人	22人	5人	53人	0人	60人
■ 総 括 評 価						
実績評価	C 計画策定時の目標を達成できなかった。					
評価についての理由及び総括	消費者被害防止のための啓発については、概ね計画とおり啓発することができたが、啓発講座に関しては、消費生活相談員の配置体制等が安定しなかったことから、各年度の目標値を大幅に減らすこととなり、計画時の目標達成には至らなかった。					
■ 今後の方向性や課題						
消費者問題出前講座について指標は設けないものの、市内の各種団体等が開催する消費者教育講座に消費生活相談員を派遣し、また、市HPや公式LINE等を通じ消費者被害情報の提供や各種啓発冊子等を配布し、消費者被害の減少を図るとともに、被害の防止に向けた消費者意識の向上と自立支援を推進する。						

【1-1-⑰】ふれあい大学校の充実	
■ 具体的な取組の概要	
推進部署	長寿支援課
取組概要	高齢者が自ら生きがいを求め、仲間をつくりながら生涯にわたって充実した生活を営むことを目的に実施しているふれあい大学校について、運用方法の変更を検討し、更なる充実を目指します。 〈実施する事業例〉ふれあい大学校運営の見直し検討、講義（社会福祉・健康管理）等
■ 令和6年度取組結果	
実施内容	88名が入学し、82名が卒業した。 午前は講義、午後はクラブ活動(体操クラブ、書道クラブ、折り紙クラブ、川柳クラブ、コーラスクラブ)を実施。また、学生が主体となって課外活動を企画し、学生同士で集まって外出するなど親睦を深めた。
実施内容に対する評価	計画どおり実施した (理由)午後のクラブ活動の種類を増やした。 また、学生主体で課外活動を企画する等、学生同士の親睦を深めることができたため。
■ 総括評価	
実績評価	B 概ね計画どおり実施した。
評価についての理由及び総括	令和4年度から、地域での活躍をさらに促進させることを目的に、健康福祉に特化した健康福祉コースのみにし、新たにクラブ活動を実施。 また、クラブ活動の種類を増やしたことで、講義だけでなくクラブ活動においても学生同士の親睦を深めることができた。
■ 今後の方向性や課題	
第4期八千代市生涯学習推進計画においても引き続き取組として位置付け、高齢者が主体的に取り組み、自ら生きがいを求め、仲間をつくりながら生涯にわたって充実した生活を営むきっかけの場となるよう、講義内容及びクラブ活動の充実を図ります。	

【1-1-⑱】高齢者の健康づくりの推進						
■ 具体的な取組の概要						
推進部署	健康づくり課					
取組概要	フレイル(虚弱)を予防するために、運動、認知症、低栄養、口腔機能等に関する健康づくりのための講座や講演会を開催します。 〈実施する事業例〉お試し体操広場、男の料理塾 等					
■ 令和6年度取組結果						
実施内容	・主催事業について、屋外を会場としたお試し体操広場は天候による中止があり、17 回実施した。 ・屋内を会場とする男の料理塾は 6 回実施した。また、げんき広場は 14 回実施した。 ・公民館等からの依頼講座は 40 回実施した。					
実施内容に対する評価	計画どおり実施した。 (理由)前年度までの影響から指標目標値に指標実績値が届かなかったものの、令和6年度から休止していた講座等の事業を再開し、年度別計画通りに実施した。					
■ 指 標						
指 標	介護予防に関する講座・講演会の参加者数			計画目標値		2,540 人
実績値	R 元年度末	R2 年度末	R3 年度末	R4 年度末	R5 年度末	R6 年度末
	1,909 人	394 人	815 人	1,156 人	1,138 人	1,801 人
■ 総 括 評 価						
実績評価	C 計画策定時の目標を達成できなかった。					
評価についての理由及び総括	令和3年度～令和5年度については、新型コロナウイルス感染拡大による対応から、屋内での事業に関しては中止をしていた。この影響により、計画通り当該事業を実施することができず、指標目標値を達成することができなかった。					
■ 今後の方向性や課題						
令和 7 年度も引き続き、新型コロナウイルス感染拡大以前の水準まで戻せるよう、講座内容等を検討・実施していく。						

【1-1-⑨】健康づくり学習事業の実施・支援

■ 具体的な取組の概要

推進部署	(1)健康づくり課 (2)母子保健課	指標の有無	有
------	--------------------	-------	---

(1)健康づくり課

取組概要	生活習慣病の発症を防ぎ、重症化を予防するため、健康に配慮した食生活やストレスの対処法、運動習慣など日々の生活で実践できるような生活習慣の改善に関する講座や講演会等で知識や情報を提供します。 〈実施する事業例〉生活習慣病予防講演会、簡単スタート！家トレ講座 等					
■ 令和6年度取組結果						
実施内容	・「目指せヘルスアップ！健康づくり講座」を4回、「お口の健康セミナー」を1回実施した。 ・公民館等からの依頼講座は3回実施した。 ・屋内を会場とした運動講座を8回実施した。					
実施内容に対する評価	計画どおり実施した。 (理由)令和5年度に引き続き、年度別計画どおり講座を実施したほか、運動講座の開催回数を増加した。					
■ 指標						
指標	健康づくりに関する講座・講演会の参加者数				計画目標値	720人
実績値	R元年度末	R2年度末	R3年度末	R4年度末	R5年度末	R6年度末
	715人	92人	40人	130人	171人	247人
■ 総括評価						
実績評価	C 計画策定時の目標を達成できなかった					
評価についての理由及び総括	令和3年度から令和4年度かけて、新型コロナウイルス感染拡大による対応から事業を縮小して行い、運動講座に関しては中止をしていた。 令和5年度からは年度別計画に基づき実施したが、指標目標値に達することができなかった。					
■ 今後の方向性や課題						
令和7年度も引き続き、新型コロナウイルス感染拡大以前の水準まで戻せるよう、講座内容等を検討・実施していく。						

(2)母子保健課

取組概要	ライフステージにあった生活行動が取れるよう、「健康・食・歯」に関する知識や情報を提供します。 〈実施する事業例〉夏休み食育教室、いい歯で歯っぴい講座 等					
■ 令和6年度取組結果						
実施内容	・学童保育所の小学生向け夏休み食育講座(1回54人)、乳幼児向け食育講座(1回3組)、小学生親向け「今日からできる！元気めし～小学生の食育講座～」(1回12人)を実施した。また、乳幼児の保護者へ「こどものむし歯予防～いい歯で歯っぴい講座～」(3回42人)を実施した。					
実施内容に対する評価	計画どおり実施した。 (理由)目標値を達成できなかったため。					
■ 指標						
指標	まちづくりふれあい講座等の健康教育の開催回数				計画目標値	40回
実績値	R元年度末	R2年度末	R3年度末	R4年度末	R5年度末	R6年度末
	36回	2回	19回	26回	4回	6回
■ 総括評価						
実績評価	C 計画策定時の目標を達成できなかった。					
評価についての理由及び総括	計画策定当初は、講座実施回数の増加を目指していたが、新型コロナウイルス感染症により対面教育が難しくなり、別の方法での情報提供を行った。新型コロナウイルス感染症が5類に移行してからも、これまでの事業のあり方を見直し、対面講座だけではないやり方での健康教育を含んだ、母子保健事業の中での情報提供を強化する方向にシフトした。そのため、計画策定当初の目標値の講座実施回数には届かなかった。					
■ 今後の方向性や課題						
引き続き、依頼などによる講座は継続していく。母子保健事業の中で全数を対象に必要な情報は伝えていくため、今後は回数の増加ではなく、より対象者に合った内容へと充実させていくことを目指していく。						

【1-1-⑳】環境保全意識の普及・啓発						
■ 具体的な取組の概要						
推進部署	環境政策課（ゼロカーボンシティ推進室）					
取組概要	生物多様性及び自然環境の保全，地球温暖化対策等が喫緊の課題となっていることから，さまざまな機会を通して環境保全意識を醸成するとともに，環境保全に関する啓発を行います。 〈実施する事業例〉子ども環境教室，自然観察会，作品展 等					
■ 令和6年度取組結果						
実施内容	環境学習の講座を実施した。 ・里山楽校(里山整備ボランティア人材育成講座):全5回講座，参加者12人 ・自然観察会「里山歩き」:1回，参加者13人 ・子ども環境教室:1回，参加者14人 ・まちづくりふれあい講座:1回7人 ・ほたるの里環境整備:12回，参加者174人 ・ほたるの里環境学習「おやこ生き物探検隊」等:4回，参加者57人 ・里山楽習会 in やちよ:1回24人 ・2025ゼロカーボン・ヤチヨ・シンポジウム:1回64名 ・どんと祭り(アンケート回答者数):2回，182人					
実施内容に対する評価	計画どおり実施した。 (理由)計画どおり，子ども環境教室，2025ゼロカーボン・ヤチヨ・シンポジウム，まちづくりふれあい講座等を実施したため。					
■ 指 標						
指 標	環境学習会の参加者数				計画目標値	2,200 人
実績値	R 元年度末	R2 年度末	R3 年度末	R4 年度末	R5 年度末	R6 年度末
	2,127 人	191 人	393 人	451 人	317 人	547 人
■ 総 括 評 価						
実績評価	B 概ね計画どおり実施した。					
評価についての理由及び総括	新型コロナウイルスの影響等より一部イベントの開催を見送った年度もあったが，概ね計画どおり子ども環境教室，2025ゼロカーボン・ヤチヨ・シンポジウム，まちづくりふれあい講座等を実施できたため。					
■ 今後の方向性や課題						
生物多様性及び自然環境の保全，地球温暖化対策等が喫緊の課題となっていることから，さまざまな機会を通して環境保全意識を醸成するとともに，環境保全に関する啓発を行います。 〈実施する事業例〉 子ども環境教室，自然観察会，作品展 等						

【1-1-㉔】ごみの減量化・リサイクル推進等の啓発事業の実施						
■ 具体的な取組の概要						
推進部署	クリーン推進課					
取組概要	ごみの排出抑制や、減量化、再資源化を啓発するごみ減量学習会やまちづくりふれあい講座、リサイクルフェアを実施します。 〈実施する事業例〉ごみ減量学習会、ごみ減量とリサイクル講座、リサイクルフェア 等					
■ 令和6年度取組結果						
実施内容	1 ごみ減量学習会の実施(自治会実施1回、その他団体実施1回数、参加者55名) 2 ごみ学習出前講座の実施(小学校実施 19回、参加者1,647名) 3 リサイクルフェアの実施(11月9日及び11月10日の2日間、来場者計 600名)					
実施内容に対する評価	計画の一部を実施した。 (理由)自治会等・小学校ともに開催目標数に満たなかった。自治会等については、開催希望があれば、都合がつく限り実施する方針だったが、開催希望が想定より少なかった。理由としては、ごみ減量学習会の認知度が低い可能性や開催場所の用意が困難である可能性が挙げられる。また、小学校についても、19校の学校から開催希望があったが、1校だけ開催希望がなく、目標を達成できなかった。開催希望がなかった1校に関しては、学校行事が集中して都合がつかず、開催を見送ったという事情があるのではないかとと思われる。					
■ 指 標						
指 標	参加団体数			計画目標値	自治会等 20・小学校全校 (20 校)	
実績値	R 元年度末	R2 年度末	R3 年度末	R4 年度末	R5 年度末	R6 年度末
	自治会等 5 小学校 8	自治会等 0 小学校 9	自治会等 3 小学校 16	自治会等 2 小学校 18	自治会等 1 小学校 17	自治会等 2 小学校 19
■ 総 括 評 価						
実績評価	C 計画策定時の目標を達成できなかった。					
評価についての理由及び総括	令和3年度から5年度に関しては、新型コロナウイルス感染症の影響で、自治会等・小学校ともに申込数が増えず、開催目標数の達成が困難な状況にあった。令和6年度に関しては、前年よりも小学校からの申込数が増えたものの、惜しくも全学校での開催という目標は達成できなかった。自治会等からの申込数は、新型コロナウイルス感染症の影響の少ないと思われる令和6年度でも増えていない。そのため、自治会等の申込数を増やすことが出来るような今まで行っていない取組を考案する必要がある。					
■ 今後の方向性や課題						
自治会等の開催申込数が伸び悩んでいるため、引き続き、市のホームページにおいて開催に関する記事を掲載したり、廃棄物減量等推進員研修会等の機会にお知らせし、周知に努める。また、他の周知方法として、やちよ情報メールや市の公式LINEといったツールを活用する等の方法を検討したい。						

【1-1-②】身近な消防啓発の充実

■ 具体的な取組の概要

推進部署	(1) 予防課 (2)警防課 (3)中央消防署	指標の有無	有
取組概要	火災予防思想の普及と火災による被害の軽減を図るため、住宅用火災警報器の設置普及とその維持管理や住宅防火対策について、市民ニーズに応じた講座を実施します。 〈実施する事業例〉住宅防火対策に関する講座		

■ 令和6年度取組結果

実施内容	申込件数:0件 実施回数:0回 参加人数:0人 ※講座の申込みがなかったため「ふれあい講座」としての実施はなかったが、消防フェア等の市民にふれあう機会を通じて、住宅防火に関するクイズや住宅用火災警報器の普及啓発を実施した。
実施内容に対する評価	計画の一部を実施した (理由)講座は実施していないが、結果的に令和6年度取組内容に掲げている「火災予防思想の普及と火災による被害の軽減」に繋がったと考えることから、「計画どおり実施した」とまでは言えないが「計画の一部を実施した」と評価する。

■ 総括評価

実績評価	B 概ね計画どおり実施した。
評価についての理由及び総括	令和3年度は新型コロナウイルス感染症拡大の影響もあり実施がなかったが、令和4年、5年については複数回の講座を実施し、広く火災予防思想の普及や啓発に繋がったと考える。また令和6年度については講座の実施回数こそ0件ではあったが、消防フェア等の市民にふれあう機会を通じて、火災予防の啓発ができたと考える。

■ 今後の方向性や課題

第4期の計画においても引き続き、「住宅防火対策」を取組みとして位置づけ、火災予防思想の普及と火災による被害の軽減を図る。

(1) 予防課

取組概要	正しい応急手当の知識を習得してもらうため、AED の取扱いを含めた救命講習会の実施により、応急手当の普及啓発を図ります。 〈実施する事業例〉普通救命講習(成人)(小児・乳児) 等					
------	--	--	--	--	--	--

■ 令和6年度取組結果

実施内容	市ホームページ、広報やちよ、生涯学習情報提供システムに講習 を掲載し、受講者の増大に努めた。 ・普通救命講習Ⅰ (成人)69回 768名 ・普通救命講習Ⅲ(小児・乳児)20回 216名					
実施内容に対する評価	計画どおり実施した。 (理由)各広報等で講習を周知し、適切な感染症対策を講じて、計画どおり開催できたため。					

■ 指標

指標	応急手当普及率				計画目標値	10.4%
実績値	R元年度末	R2年度末	R3年度末	実績値	R元年度末	R2年度末
	9.9%	0%	10.0%	10.4%	10.8%	11.3%

■ 総括評価

実績評価	B 概ね計画どおり実施した。					
評価についての理由及び総括	一時的に新型コロナウイルス感染症の影響により救命講習を中止及び人数の制限により参加人数は減少した。 救命講習は再任用職員を配置し、統一された教材を活用することで、全ての受講者が同じ条件で講習が受けられるよう開催した。					

■ 今後の方向性や課題

第4期八千代市生涯学習推進計画においても引き続き取組として位置づけ、受講者の増大を目指す。そのため広報やちよ、市ホームページ等を活用して講習予定を周知するとともに受講者の利便性向上を図る。また、講習時間を短縮するために、eラーニングの受講を推奨し、受講者の負担軽減する取組を進める。

(2) 警防課

【1-1-㉓】救命技術教育の推進						
■ 具体的な取組の概要						
推進部署	中央消防署					
取組概要	命の大切さ、救命に必要な知識と心肺蘇生法を体験させ、いざという時に「人の命を救える」人材を育成する。 〈実施する事業例〉市内小中学校児童・生徒への救命体験 等					
■ 令和6年度取組結果						
実施内容	本年度の小中学生向け救命体験については、計画通り実施することができた。学校と連携し、実施日の調整を行い予定通りの実施に至った。参加児童・生徒からは前向きな反応が多く、救命の意識向上という目的も概ね達成された。					
実施内容に対する評価	計画どおり実施した。 (理由)市内の全小学校・中学校・義務教育学校で実施できたため。					
■ 指 標						
指 標	救命体験の開催校数			計画目標値		市内小中学校全校
実績値	R 元年度末	R2 年度末	R3 年度末	R4 年度末	R5 年度末	R6 年度末
	31 校	0 校	27 校	32 校	29 校	33 校
■ 総 括 評 価						
実績評価	B 概ね計画どおり実施した。					
評価についての理由及び総括	令和3年度から令和6年度にかけての小中学生向け救命体験はコロナ禍により一部中止や規模縮小を余儀なくされた年度もあったが、各年度の状況に応じた対応により、段階的に実施体制を回復させてきた。これにより、児童・生徒の命を守る意識や救命への関心を高めるという当初の目的に対し、一定の成果が得られたと評価できる。					
■ 今後の方向性や課題						
今後も例年通り小中学生の参加を促しつつ、より効果的な学びにつなげるために、体験内容の工夫やデジタル教材の活用を進めていく必要がある。また、実施負担の軽減や指導体制の強化、人材の育成といった運営面の課題にも継続的に取り組むことが重要である。						

基本目標2 学びを通じた交流と成果の還元

基本方針 2-2 学習成果を活用した交流の支援

○各取組の総括評価結果

4項目 4件

A 計画策定時の想定を上回った	0件
B 概ね計画どおり実施した	2件
C 計画策定時の目標を達成できなかった	2件

【2-2-①】 公民館まつり開催及び内容等の検討						
■ 具体的な取組の概要						
推進部署	公民館					
取組概要	サークルの減少及び会員の高齢化に伴い、公民館まつり以外においても、学習成果の発表の場について内容等を検討し、地域との交流や生涯学習の啓発を行います。					
■ 令和6年度取組結果						
実施内容	市内8公民館において公民館まつり等を開催した。(参加サークル数86団体 来場者数2,381人)					
実施内容に対する評価	計画の一部を実施した。 (理由)サークルの減少及び会員の高齢化に伴い、公民館まつりの規模の縮小となった。					
■ 指 標						
指 標	公民館まつり来場者数				計画目標値	7,400 人
実績値	R 元年度末	R2 年度末	R3 年度末	R4 年度末	R5 年度末	R6 年度末
	4,682 人	0 人	1,134 人	3,963 人	4,432 人	2,381 人
■ 総 括 評 価						
実績評価	C 計画策定時の目標を達成できなかった。					
評価についての理由及び総括	サークル会員の負担軽減を重視したことで、参加サークル数の減少や規模の縮小となった。					
■ 今後の方向性や課題						
公民館まつりの実施形態や規模に囚われず、違った形での学習成果の発表の場を提供することで、幅広い世代の地域交流の促進に努める。						

【2-2-②】ニューリバーロードレース in 八千代の開催	
■ 具体的な取組の概要	
推進部署	文化・スポーツ課
取組概要	市内外から多くのランナーを迎え、体力と健康の増進及び生涯スポーツ活動の推進を図るとともに、八千代市を広くPRするニューリバーロードレース in 八千代を、実行委員会、ボランティアと連携して開催します。
■ 令和6年度取組結果	
実施内容	令和6年12月8日(日)に第25回ニューリバーロードレース in 八千代を実施した。 また、参加者及びボランティア等に源右衛門鍋で作る豚汁を提供した。 【種目及び参加者数】 (1)10マイル 1,091人、(2)10km 968人、(3)5km 524人、(4)2.5km 309人、(5)2.5km 親子ファンラン 279組(558人)、(6)1.3km障がい者レース 16人 参加者総数:3,187人
実施内容に対する評価	計画どおり実施した。 (理由)市内のスポーツ団体、学生等によるボランティアの協力を得て、実行委員会と共に大会を実施することができたため。
■ 総括評価	
実績評価	B 概ね計画どおり実施した。
評価についての理由及び総括	新型コロナウイルス感染症の影響により令和2年度、令和3年度は中止、令和4年度は参加人数等制限し開催、令和5年度からは制限なしの開催ができるようになり、参加人数も徐々に増加している。
■ 今後の方向性や課題	
実行委員会の高齢化や担い手不足、ボランティアの確保が課題であるが、今後も市内のスポーツ団体、学生等によるボランティアの協力を得て、実行委員会と共に大会を実施していきたい。	

【2-2-③】コミュニティワールドカップサッカーin 八千代の開催	
■ 具体的な取組の概要	
推進部署	文化・スポーツ課
取組概要	地域スポーツの活性化と生涯スポーツへの関心の高揚、技術の向上と青少年の国際交流を目的としたコミュニティワールドカップサッカーin 八千代を主催する実行委員会を支援します。
■ 令和6年度取組結果	
実施内容	主催する実行委員会より、大会の在り方について見直しを行った結果、コミュニティワールドカップサッカーin八千代として今後大会を実施しないと連絡があった。
実施内容に対する評価	実施なかったため評価なし。
■ 総括評価	
実績評価	B 概ね計画どおり実施した。
評価についての理由及び総括	令和5年度までに30回の大会を実施し、八千代市の中学生をはじめ、海外、日本全国各地から参加して頂いた選手の競技力向上と青少年の健全育成に大きく影響する大会となった。

【2-2-④】放課後子ども教室の推進						
■ 具体的な取組の概要						
推進部署	子育て支援課					
取組概要	小学校の余裕教室等を活用し、全ての児童を対象として、安全・安心な子どもの活動拠点（居場所）を設け、地域住民の参画を得ながら、勉強やスポーツ・文化活動、地域住民との交流活動等の機会を提供するため順次開設します。 〈実施する事業例〉放課後子ども教室の実施及び実施校拡充の協議・検討 等					
■ 令和6年度取組結果						
実施内容	当年度から管理運営を直営から外部委託へと変更し、安全管理員の人員を確保したことにより、4校において新規開設することができた。					
実施内容に対する評価	計画の一部を実施した。 令和6年度末の目標数である市内小学校全校を達成できなかったため。					
■ 指 標						
指 標	放課後子ども教室の実施校数				計画目標値	市内小学校全校
実績値	R元年度末	R2年度末	R3年度末	R4年度末	R5年度末	R6年度末
	6校	5校	9校	9校	9校	13校
■ 総 括 評 価						
実績評価	C 計画策定時の目標を達成できなかった。					
評価についての理由及び総括	令和6年度から管理運営を直営から外部委託へと変更し、安全管理員の人員を確保したことにより開催校を9校から13校へ拡充することができた。しかし、未開設校での余裕教室等の確保が進まず、目標数である市内小学校全校開催には至らなかった。					
■ 今後の方向性や課題						
第4期八千代市生涯学習推進計画においても引き続き取組として位置づけ、全ての児童を対象とした安全・安心な子どもの居場所を設けるため、未開設校での新規開設に向けて委託業者及び関係機関と協議・調整を行っていく。						

基本方針 2-3 団体活動の支援と学習成果の地域還元促進

○各取組の総括評価結果

3項目 3件

A 計画策定時の想定を上回った	0件
B 概ね計画どおり実施した	2件
C 計画策定時の目標を達成できなかった	1件

【2-3-①】ふれあい教室の充実（再掲 1-1-③）						
■ 具体的な取組の概要						
推進部署	生涯学習振興課					
取組概要	ボランティア指導者が物づくりや昔遊び等を通して、知恵や技能を若い世代に伝え、交流を深めるふれあい教室の充実を図るための支援を行います。 〈実施する教室例〉折り紙教室, わら芸教室 等					
■ 令和6年度取組結果						
実施内容	ボランティア団体を市内の小学校や学童保育所, 保育園等に派遣し、指導を通して世代間や地域の交流の場を提供した。					
実施内容に対する評価	計画どおり実施した。 (理由)世代間での交流の場を提供し、地域活動への参加推進や学習機会の充実に繋がった。					
■ 指 標						
指 標	ふれあい教室開催回数				計画目標値	130回
実績値	R 元年度末	R2 年度末	R3 年度末	R4 年度末	R5 年度末	R6 年度末
	117 回	9 回	25 回	39 回	52 回	59 回
■ 総 括 評 価						
実績評価	C 計画策定時の目標を達成できなかった。					
評価についての理由及び総括	計画期間中は、毎年実施回数が増えているが、コロナ禍以前との比較では半数程度になっている。実施団体の減少のほか、継続している団体についても実施可能日が減少していることなどが原因と考えられる。					
■ 今後の方向性や課題						
実施団体が継続できるよう、ボランティア指導者の増加を図るため、会員募集等を周知する。						

【2-3-②】青少年学校外活動支援事業の推進	
■ 具体的な取組の概要	
推進部署	生涯学習振興課
取組概要	<p>青少年の健全育成を図るため、土曜日などの学校休業日に、体験活動の機会を提供する地域組織を支援します。</p> <p>〈実施する事業例〉地域組織との連絡調整、レクリエーション研修会、安全管理講習会 等</p>
■ 令和6年度取組結果	
実施内容	<p>安全管理講習会、外部講師を招いた講演会及びレクリエーション研修会を実施した。ほか、学校外活動支援事業における地域の実行委員会に対し、委員への研修実施や消耗品の援助、情報交換など運営や課題に対処し支援した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・安全管理講習会の実施 テーマ:「子どものストレス対処法」 講師:青少年育成指導員 参加者数:11人 ・講習会の実施 テーマ:「防災の知識とアイデア」 講師:青少年育成指導員 参加者数:7人 ・レクリエーション研修会 内容:アイスブレイキングに役立つ「簡単マジック」を習おう 講師:マジック倶楽部チェリーズ 参加者数:11人
実施内容に対する評価	<p>計画どおり実施した。</p> <p>(理由)安全管理講習会、講演会、レクリエーション研修会等、計画どおり行事を実施できたため。</p>
■ 総 括 評 価	
実績評価	B 概ね計画どおり実施した。
評価についての理由及び総括	安全管理講習会、講習会、レクリエーション研修会等、計画どおり行事を実施できたため。
■ 今後の方向性や課題	
安全管理講習会、レクリエーション研修会、講習会について、今後も継続して実施していきたい。	

【2-3-③】八千代市ボランティア・市民活動推進センターの運営に対する補助	
■ 具体的な取組の概要	
推進部署	コミュニティ推進課
取組概要	市民とボランティア団体・市民活動団体を繋げるマッチング業務の強化を図るとともに、ボランティア活動・市民活動の推進を一体的に行うことで、住民主体による支え合い活動等を推進するため、八千代市ボランティア・市民活動推進センターを運営する八千代市社会福祉協議会に補助金を交付する。 〈実施する事業例〉マッチング業務、イベントの開催等(八千代市ボランティア・市民活動推進センターによる)
■ 令和6年度取組結果	
実施内容	八千代市ボランティア・市民活動推進センターを運営する八千代市社会福祉協議会に補助金を交付することで、市民とボランティア団体・市民活動団体を繋げるマッチング業務の強化を図った。
実施内容に対する評価	計画どおり実施した。 (理由)八千代市ボランティア・市民活動推進センターを運営する八千代市社会福祉協議会に補助金を交付したため。
■ 総 括 評 価	
実績評価	B 概ね計画どおり実施した。
評価についての理由及び総括	新型コロナウイルス感染症の影響により、講座開催のサポート等は行えなかったが、市民活動サポートセンターとボランティアセンターの統合に向け調整を行い、統合後は八千代市ボランティア・市民活動推進センターを運営する八千代市社会福祉協議会に補助金を交付したため。
■ 今後の方向性や課題	
今後も八千代市ボランティア・市民活動推進センターを運営する八千代市社会福祉協議会に補助金を交付することで、市民とボランティア団体・市民活動団体を繋げるマッチング業務の強化を図っていく。	

基本方針 2-4 人材の育成・確保・活用の体制整備

○各取組の総括評価結果

8項目 9件

A 計画策定時の想定を上回った	0件
B 概ね計画どおり実施した	4件
C 計画策定時の目標を達成できなかった	5件

【2-4-①】まちづくりふれあい講座の充実（再掲 1-1-①）						
■ 具体的な取組の概要						
推進部署	生涯学習振興課					
取組概要	市職員が市民グループの講座等へ出向き、市の事業や施策について話をする。また、新たな講座の追加や実施期間の拡充などを担当部署に働きかけるとともに、広報活動を推進する。〈実施する講座例〉八千代市の財政状況、市税のはなし、やちよの自然発見 等					
■ 令和6年度取組結果						
実施内容	各所属への登録講座調査、パンフレット(1,600 部)作成・配布、市民への周知、講座受講希望者と担当課の調整・派遣、実績把握調査を実施した。また、講座数は前年度と同数の 68 講座となった。					
実施内容に対する評価	計画どおり実施した。 (理由)各担当課の協力により計画通り実施することができたため。					
■ 指 標						
指 標	まちづくりふれあい講座の講座数			計画目標値		70 講座
実績値	R 元年度末	R2 年度末	R3 年度末	R4 年度末	R5 年度末	R6 年度末
	65 講座	65 講座	67 講座	67 講座	68 講座	68 講座
■ 総 括 評 価						
実績評価	C 計画策定時の目標を達成できなかった。					
評価についての理由及び総括	新規講座の開設は、人員体制等の理由により難しい状況であり、講座数の増加に繋がらなかった。					
■ 今後の方向性や課題						
各部署との調整・連絡を密に行うとともに、今後もより多くの方に利用してもらえるよう、制度周知に努め、本制度の活用促進を図っていく。第4期の目標値は、受講者数の増加に変更した。						

【2-4-②】ふれあい教室の充実（再掲 1-1-③）						
■ 具体的な取組の概要						
推進部署	生涯学習振興課					
取組概要	ボランティア指導者が物づくりや昔遊び等を通して、知恵や技能を若い世代に伝え、交流を深めるふれあい教室の充実を図るための支援を行います。 〈実施する教室例〉 折り紙教室, わら工芸教室 等					
■ 令和6年度取組結果						
実施内容	ボランティア団体を市内の小学校や学童保育所, 保育園等に派遣し, 指導を通して世代間や地域の交流の場を提供した。					
実施内容に対する評価	計画どおり実施した。 (理由) 世代間での交流の場を提供し, 地域活動への参加推進や学習機会の充実に繋がった。。					
■ 指 標						
指 標	ふれあい教室開催回数				計画目標値	130回
実績値	R 元年度末	R2 年度末	R3 年度末	R4 年度末	R5 年度末	R6 年度末
	117 回	9 回	25 回	39 回	52 回	59 回
■ 総 括 評 価						
実績評価	C 計画策定時の目標を達成できなかった。					
評価についての理由及び総括	新規講座の開設は, 人員体制等の理由により難しい状況であり, 講座数の増加に繋がらなかった。					
■ 今後の方向性や課題						
実施団体が継続できるよう, ボランティア指導者の増加を図るため, 会員募集等を周知する。						

【2-4-③】バラの植栽管理講習会の実施						
■ 具体的な取組の概要						
推進部署	生涯学習振興課					
取組概要	バラの植栽管理講習会を開催し、公共施設等のバラの管理が担えるボランティアの育成を行います。また、受講生の中から地域のリーダーとなるような人材の発掘に努めます。 〈実施する事業例〉バラの植栽管理講習会、バラボランティアの育成 等					
■ 令和6年度取組結果						
実施内容	バラに関する講習会を実施した。 (講習会回数・人数)5回・65人					
実施内容に対する評価	計画どおり実施した。 (理由)計画どおり、講習会を開催し、ボランティアの育成に努めたため。					
■ 指 標						
指 標	受講者の数				計画目標値	100人
実績値	R元年度末	R2年度末	R3年度末	R4年度末	R5年度末	R6年度末
	－	－	55人	98人	70人	65人
■ 総 括 評 価						
実績評価	B 概ね計画どおり実施した。					
評価についての理由及び総括	計画どおり、講習会を開催し、ボランティアの育成に努めたため。					
■ 今後の方向性や課題						
引き続きバラに関する講習会を開催するとともに内容を充実させ、地域リーダーの発掘に努める。						

【2-4-④】青少年団体指導者養成講座（友・遊・カレッジ）の実施						
■ 具体的な取組の概要						
推進部署	生涯学習振興課					
取組概要	青少年活動に関わる人たちが地域社会活動に必要な基礎的知識や技術を身につけ、指導者として活動できるよう青少年団体指導者養成講座「友・遊・カレッジ」を実施します。 〈実施する事業例〉青少年育成講演会、野外活動実習 等					
■ 令和6年度取組結果						
実施内容	青少年活動に関わる人たちが地域社会活動に必要な基礎的知識や技術を習得するための講座を実施した。 1 回目「安全管理講習会 KYT 」 2 回目「楽しくキャンプのノウハウを学ぼう」 3 回目「防災の知識とアイデア」 4・5 回目「コミュニケーション力を高めよう ①② 」 実施後は指導者として活動ができるよう、地域の青少年育成団体等の情報提供を行った。					
実施内容に対する評価	計画どおり実施した。 5 回の講座の内容に対応した参加者が集まり、充実した講座が実施できた。					
■ 指 標						
指 標	受講者累計（直近5年間）の内、青少年指導者として活動している割合				計画目標値	90%
実績値	R 元年度末	R2 年度末	R3 年度末	R4 年度末	R5 年度末	R6 年度末
	72.0%	81.2%	80.8%	83.3%	89.8%	86%
■ 総 括 評 価						
実績評価	B 概ね計画どおり実施した。					
評価についての理由及び総括	5 回の講座の内容に対応した参加者が集まり、充実した講座が実施できた。					
■ 今後の方向性や課題						
参加者数が少ない講座については、講座の内容や開催方法、周知方法等を検討していく。						

【2-4-⑤】生涯学習ボランティアバンク制度の活用の推進

■ 具体的な取組の概要

推進部署	(1)総合生涯学習プラザ (2)公民館	指標の有無	有
取組概要	各分野において知識・技能及び技術を有する人材を登録し、その知識等を学びたい人に紹介することによって市民相互の生涯学習活動を支援し、生涯学習社会の実現を図ります。 〈実施する事業例〉生涯学習ボランティアバンク制度の周知・啓発, 人材登録・派遣 等		

■ 令和6年度取組結果

実施内容	ホームページ(市, 総合生涯学習プラザ)への掲載や生涯学習施設・主催講座・市内イベントでのチラシ配布により、生涯学習ボランティアバンク制度の周知に努めた。 利用件数3件, 利用人数は延べ31人であった。また、登録講師は21名であった。					
実施内容に対する評価	計画の一部を実施した。 (理由)制度の周知に努めたが、実施回数・利用人数ともに令和6年度の目標値を達成できなかったため。					

■ 指標

指 標	①生涯学習ボランティアバンク制度を活用した講座の実施数 ②生涯学習ボランティアバンク制度の登録者数		計画目標値	①40回 ②43人		
実績値	R元年度末	R2年度末	R3年度末	R4年度末	R5年度末	R6年度末
	①17回 ②39人	①3回 ②36人	①2回 ②29人	①14回 ②29人	①5回 ②26人	①3回 ②21人

■ 総括評価

実績評価	C 計画策定時の目標を達成できなかった					
評価についての理由及び総括	コロナ禍により、対面の講座が減少したことも伴い登録者数や利用件数は減少傾向となり、目標値を達成できなかった					

■ 今後の方向性や課題

利用件数の増加を図るため、教えたい人と学びたい人とのマッチングを実施(主催講座のアンケート結果、まなびネットやちよの閲覧状況、図書資料の貸出状況等を整理・分析)するほか、引き続き制度周知に努め、登録講師を増やすとともに活用促進を図っていく。

(1) 総合生涯学習プラザ

取組概要	教えたい人と学びたい人をつなぐ「公民館ボランティア講師制度」の内容を充実させるとともに、市民の積極的な活用を推進します。 〈実施する事業例〉公民館ボランティア講師制度の周知・啓発, 人材登録・派遣 等					
■ 令和6年度取組結果						
実施内容	登録している全ての公民館ボランティアを対象に、意向調査と継続確認を行った。各館に対し、ボランティア講師の活用について推進を図った。					
実施内容に対する評価	計画の一部を実施した。 (理由)活用回数及び登録者は目標値を下回ったが登録者数は増加したため。。					
■ 指標						
指 標	①公民館ボランティア講師制度を活用した講座の実施数 ②公民館ボランティア講師制度の登録者数		計画目標値	①50回 ②60人		
実績値	R元年度末	R2年度末	R3年度末	R4年度末	R5年度末	R6年度末
	①31回 ②49人	①6回 ②50人	①5回 ②50人	①9回 ②36人	①5回 ②26人	①23回 ②39人
■ 総括評価						
実績評価	C 計画策定時の目標を達成できなかった。					
評価についての理由及び総括	NPO 法人や企業、まちづくりふれあい講座など活用したが、ボランティア講師の活用回数及び登録者数は目標値を下回ったため。					
■ 今後の方向性や課題						
ボランティア講師の積極的な活用を推進するために制度内容や周知方法を再度検討する。						

【2-4-⑥】やちよ元気体操応援隊の養成と活動支援						
■ 具体的な取組の概要						
推進部署	健康づくり課					
取組概要	住民主体の健康づくり活動を推進するため、やちよ元気体操応援隊を養成し応援隊が実施する体操グループを支援します。 〈実施する事業例〉 やちよ元気体操応援隊養成講座 等					
■ 令和6年度取組結果						
実施内容	・やちよ元気体操グループへの訪問支援を実施し、体操の復習や活動の運営に係る相談、健康相談等に対応した。 ・令和6年6～7月にやちよ元気体操応援隊研修会を実施し、計193名が参加した。 ・令和7年1月にやちよ元気体操指導士研修会を実施し、6名の指導士が参加した。 ・令和7年3月にやちよ元気体操応援隊全体会を実施し、156名が参加した。 ・やちよ元気体操応援隊養成講座を実施し、計58人が新たにやちよ元気体操応援隊として登録した。					
実施内容に対する評価	計画どおり実施した。 (理由)年度別計画のとおり、やちよ元気体操応援隊養成講座を開催し、やちよ元気体操応援隊が実施する体操グループの支援を実施した。昨年度からグループ数が減少した理由として、コロナ禍の影響により、活動を休止していたグループの活動再開の可否について確認した結果、当年度の実績値となった。					
■ 指 標						
指 標	やちよ元気体操応援隊が実施する体操グループ数				計画目標値	104 グループ
実績値	R元年度末	R2 年度末	R3 年度末	R4 年度末	R5 年度末	R6 年度末
	96 グループ	95 グループ	92 グループ	91 グループ	91 グループ	87 グループ
■ 総 括 評 価						
実績評価	C 計画策定時の目標を達成できなかった。					
評価についての理由及び総括	令和3年度から令和5年度にかけて、新型コロナウイルス感染拡大による対応から、体操グループの訪問支援や養成講座等を止むを得ず中止していた。この影響により、計画通り当該事業を実施することができず、指標目標値を達成することができなかった。					
■ 今後の方向性や課題						
令和7年度以降も引き続き、住民主体の通いの場の拡大及び通いの場の継続支援に取り組む。						

【2-4-⑦】農業ボランティア推進事業の充実	
■ 具体的な取組の概要	
推進部署	やちよ農業交流センター
取組概要	都市住民と農業者の交流を図りながら、農業に関心のある都市住民を対象に農業ボランティアとして養成し、援農システムを拡充します。 〈実施する事業例〉 農業ボランティア推進事業の在り方の検討、農業ボランティア養成講座、ボランティア認証者と受入農家との連絡調整 等
■ 令和6年度取組結果	
実施内容	都市住民と農業者の交流を図りながら、農業に関心のある都市住民を対象に農業ボランティアとして養成し、援農システムを拡充した。
実施内容に対する評価	計画どおり実施した。 (理由)令和6年度農業ボランティア養成講座実施要項に基づき講座及び実習を実施した。
■ 総 括 評 価	
実績評価	B 概ね計画どおり実施した。
評価についての理由及び総括	農業ボランティア養成講座実施要項に基づき講座及び実習を実施した。
■ 今後の方向性や課題	
今後も農業に関心のある都市住民等を対象に農業ボランティア養成講座を実施し、援農システムの拡充を目指していく。	

【2-4-⑧】里山整備ボランティアの育成						
■ 具体的な取組の概要						
推進部署	環境政策課（環境ゼロカーボンシティ推進室）					
取組概要	「第3次環境保全計画」に基づき、里山楽校を開催し、里山整備ボランティアを育成します。 〈実施する事業例〉里山整備ボランティア人材育成講座、里山楽習会 等					
■ 令和6年度取組結果						
実施内容	市内に残る貴重な谷津・里山を保全・再生するため、里山整備ボランティア人材育成講座（里山楽校）を全5回の日程で開催し、12人の里山ボランティアを育成することができた。 また、谷津・里山への理解を深めるため、「里山歩き」及び「里山楽習会」を開催した。					
実施内容に対する評価	計画どおり実施した。 （理由）計画どおり、里山整備ボランティア人材育成講座（里山楽校）、里山楽習会、里山歩きを実施したため。					
■ 指 標						
指 標	里山楽校（里山整備ボランティア人材育成講座）の参加者数				計画目標値	170 人
実績値	R 元年度末	R2 年度末	R3 年度末	R4 年度末	R5 年度末	R6 年度末
	118 人	128 人	138 人	151 人	160 人	172 人
■ 総 括 評 価						
実績評価	B 概ね計画どおり実施した。					
評価についての理由及び総括	新型コロナウイルスの影響等より一部イベントの開催を見送った年度もあったが、概ね計画どおり里山整備ボランティア人材育成講座（里山楽校）、里山楽習会、里山歩きを実施できたため。					
■ 今後の方向性や課題						
「第3次環境保全計画 改訂版」に基づき、里山楽校を開催し、里山整備ボランティアを育成します。 なお、講座の内容については、その都度適したものへと改善していきます。 〈実施する事業例〉 里山整備ボランティア人材育成講座、里山学習会、里山歩き 等						

基本目標3 市民の学びの環境整備

基本方針 3-5 生涯学習関係施設の整備・充実

○各取組の総括評価結果

3項目 3件

A 計画策定時の想定を上回った	0件
B 概ね計画どおり実施した	3件
C 計画策定時の目標を達成できなかった	0件

【3-5-①】生涯学習関係施設の整備・改善	
■ 具体的な取組の概要	
推進部署	生涯学習振興課
取組概要	生涯学習関係施設の機能や役割について見直しなどを行うとともに、市民のライフスタイルの多様化に合わせた利用方法等の改善に努め、利便性の向上を図ります。 〈実施する事業例〉生涯学習関係施設の整備・充実・見直し、施設利用方法の改善 等
■ 令和6年度取組結果	
実施内容	中央図書館の図書等を効率的に保管し、利用者サービスの向上を図るため、自動出納書庫整備工事を実施した。ほか、施設設備の老朽化対策のため、八千代台図書館玄関底改修工事、八千代台図書館外部階段塗装及び外部フェンス撤去工事等を行った。また、維持管理のため、施設の中央図書館・市民ギャラリー高圧引込ケーブル等高圧引込管路修繕、総合生涯学習プラザのトレーニング室空調機更新工事を行った。 その他、定期点検時に指摘のあった消防設備の修繕等、施設の不具合箇所の改修を行うなど、適切な維持管理に努めた。
実施内容に対する評価	計画どおり実施した。 (理由)各施設必要な修繕の実施など適切な維持管理に努めたため。
■ 総括評価	
実績評価	B 概ね計画どおり実施した。
評価についての理由及び総括	老朽化する施設を安心・安全に施設を利用するために、緊急度の高い箇所の修繕の実施など適切な維持管理に努めた。 また、中央図書館の自動出納書庫を整備し、利用者の利便性を高めた。
■ 今後の方向性や課題	
老朽化への修繕に対応しながら、各施設の今後のあり方等や活用方法等の検討も求められている。	

【3-5-②】郷土博物館展示事業	
■ 具体的な取組の概要	
推進部署	郷土博物館
取組概要	常設展のリニューアルを検討・計画し、展示内容を充実させます。 〈実施する事業例〉考古・歴史・民俗・産業・自然の常設展開催
■ 令和6年度取組結果	
実施内容	展示内容に関しては、寄贈資料を中心として、主にロビー・ラウンジ展示の充実を図り、昔のくらしコーナーにゴミ箱を、農具コーナーに台秤を設置した。また、常設展示の補足資料として、市内の沖塚遺跡についての配布物を作成し、頒布した。
実施内容に対する評価	計画どおり実施した。 (理由)常設展やロビー・ラウンジの展示について、資料の追加を行い、充実を図ることができた。
■ 総括評価	
実績評価	B 概ね計画どおり実施した。
評価についての理由及び総括	新型コロナウイルス感染症の影響を受けながらも、毎年、展示の内容を更新しながら、収蔵資料を生かした展示作りを進めてきている。
■ 今後の方向性や課題	
今後も、収蔵資料を生かした展示作りを進めていく。また、展示のリニューアルについては、日頃から現状の課題を共有しておくことで、計画を進められるようにしていく。	

【3-5-③】電子決済サービスの提供（キャッシュレス化）						
■ 具体的な取組の概要						
推進部署	生涯学習振興課					
取組概要	施設使用料等の決済方法について、新たにキャッシュレス決済を導入し、市民等の利便性の向上を図ります。					
■ 令和6年度取組結果						
実施内容	令和5年7月からQRコードによるキャッシュレス決済を導入し、引き続き運用を行った。 （導入施設：総合運動公園野球場及び庭球場、萱田地区公園野球場及び庭球場、村上第1公園、市民体育館、総合グラウンド、八千代台近隣公園小体育館、勝田台中央公園小体育館、総合生涯学習プラザ、緑が丘公民館、八千代台東南公共センター、市民会館、八千代台文化センター、勝田台文化センター、市民ギャラリー）					
実施内容に対する評価	計画どおり実施した。 準備から導入まで予定どおり進められたため。					
■ 指 標						
指 標	生涯学習施設及び社会教育施設における電子決済サービス導入数				計画目標値	16 施設
実績値	R 元年度末	R2 年度末	R3 年度末	R4 年度末	R5 年度末	R6 年度末
	—	—	—	—	16 施設	16 施設
■ 総 括 評 価						
実績評価	B 概ね計画どおり実施した。					
評価についての理由及び総括	導入に向けて費用対効果の検討を実施し、全庁的なQRコード決済を導入し、運用を開始できたため。					
■ 今後の方向性や課題						
引き続きキャッシュレス決済の利用者のニーズを把握し、QR コード決済以外の導入についても調査・研究を進めていく。						

基本方針 3-6 情報提供の充実

○各取組の総括評価結果

6項目 7件

各取組の総括評価結果

A 計画策定時の想定を上回った	0件
B 概ね計画どおり実施した	5件
C 計画策定時の目標を達成できなかった	2件

【3-6-①】オンラインを活用した学びの充実（再掲 1-1-④）						
■ 具体的な取組の概要						
推進部署	生涯学習振興課					
取組概要	いつでもどこでも学習ができるオンラインを活用した講座等を配信することで、学びの充実に努めます。 〈実施する講座例〉 歴史講座, 健康講座, 俳句講座 等					
■ 令和6年度取組結果						
実施内容	令和6年度新規配信開始 WEB 講座数 1 講座 令和6年度新規配信 WEB 講座総視聴回数 144 回 総視聴回数 35,557 回					
実施内容に対する評価	計画の一部を実施した。 (理由)新規の WEB 講座を公開したが、目標値を下回っているため。 動画の作成に必要な知識や技能を持った職員が少なく、新規の講座があまり増えていないため。					
■ 指 標						
指 標	オンラインによる講座の配信数				計画目標値	40 回
実績値	R 元年度末	R2 年度末	R3 年度末	R4 年度末	R5 年度末	R6 年度末
	—	—	16 回	7 回	5 回	1 回
■ 総 括 評 価						
実績評価	C 計画策定時の目標を達成できなかった。					
評価についての理由及び総括	YouTube アカウントを新規に作成し、WEB 講座の作成に努めたが、動画作成の知識や技能が少ないため講座数を増やす目標が達成できなかった。					
■ 今後の方向性や課題						
市が実施するオンライン講座のニーズや在り方を検討していく。						

【3-6-②】生涯学習情報提供システムの充実						
■ 具体的な取組の概要						
推進部署	総合生涯学習プラザ					
取組概要	生涯学習情報提供システム「まなびネットやちよ」の情報を充実させ、様々な情報の需要に応えます。 〈実施する事業例〉生涯学習情報提供システム「まなびネットやちよ」の充実・周知・啓発 等					
■ 令和6年度取組結果						
実施内容	「まなびネットやちよ」において、他部署から収集した講座・教室情報を毎月 2 回掲載するとともに、団体・サークルや指導者に係る情報を適宜更新し、掲載内容の充実を図った。					
実施内容に対する評価	計画どおり実施した。 (理由)講座・教室情報や団体・サークル情報、指導者情報等の掲載、更新を行ったため。					
■ 指 標						
指 標	生涯学習情報提供システムへのアクセス件数				計画目標値	85,000 件
実績値	R 元年度末	R2 年度末	R3 年度末	R4 年度末	R5 年度末	R6 年度末
	63,796 件	60,851 件	77,628 件	69,575 件	63,406 件	81,502 件
■ 総 括 評 価						
実績評価	B 概ね計画どおり実施した。					
評価についての理由及び総括	まなびネットやちよの全面リニューアルを行ったほか、講座・教室情報や団体・サークル情報、指導者情報等の掲載、更新を行った。 一方で、アンケート等の結果から市民への認知度が低いことが課題となっている。					
■ 今後の方向性や課題						
やちよ情報メールや市ホームページ、広報やちよ等を活用し、生涯学習情報の発信に努め、認知度を向上させるとともに、アクセスのしやすさの向上に努めていく。						

【3-6-③】生涯学習相談窓口の充実

■ 具体的な取組の概要

推進部署	(1)総合生涯学習プラザ (2)公民館	指標の有無	有
------	---------------------	-------	---

(1) 総合生涯学習プラザ

取組概要	市民が生涯学習を始めるきっかけをつかめるよう、また、より広く、深く学べるよう情報を提供しながらサポートします。 〈実施する事業例〉 パンフレット配布・パネル展示による情報発信、相談窓口・閲覧用パソコンの設置 等		
■ 令和6年度取組結果			
実施内容	・施設内でのチラシ等配架やパネル展示により生涯学習情報を提供するとともに、学習相談・情報提供コーナーに設置する市民閲覧用パソコンを活用した利用者が自発的に情報収集・学習活動に取り組めるよう支援した。		
実施内容に対する評価	計画どおり実施した。 (理由)市民の生涯学習への関心と学習意欲を高めるよう、情報提供及び活動支援に努めたため。		
■ 総括評価			
実績評価	B 概ね計画どおり実施した		
評価についての理由及び総括	市民の生涯学習への関心と学習意欲を高めるよう、情報提供及び活動支援に努めたため。		
■ 今後の方向性や課題			
引き続き学習相談・情報提供コーナーを通して情報発信を行い、生涯学習の普及に努める。			

(2) 公民館

取組概要	市民の学習相談に的確に対応できるよう、生涯学習関係機関と情報の共有を図るとともに、市民が気軽に相談できる雰囲気づくりを行っていく等、学習相談窓口を充実します。 〈実施する事業例〉 パンフレット配布・パネル展示による情報発信、相談窓口の設置 等		
■ 令和6年度取組結果			
実施内容	公民館主催講座等の生涯学習情報について、広報やちよ、市ホームページ、まなびネットやちよ及びやちよ情報メール等により情報提供した。		
実施内容に対する評価	計画どおり実施した。 (理由)様々な媒体を通して、生涯学習情報の提供ができたため。		
■ 総括評価			
実績評価	B 概ね計画どおり実施した		
評価についての理由及び総括	ホームページの充実や情報メールなどの媒体を通して、生涯学習情報の提供ができた。		
■ 今後の方向性や課題			
引き続きデジタル社会に対応していくために必要な媒体の活用と充実を図る。			

【3-6-④】市民の知的活動や創造的活動を支援するサービスの充実						
■ 具体的な取組の概要						
推進部署	図書館					
取組概要	資料の充実を図り、資料提供、情報提供を通して、市民の日常的な読書から調査・研究までの生涯学習活動を支援し、暮らしと仕事に役立つサービスを充実させます。また、ホームページ等を活用した情報発信を行うことで、利用の拡大に努めます。さらに、非来館型サービスである電子図書館を充実させ、市民が活用できるよう周知に努めます。 〈実施する事業例〉資料収集・提供、団体貸出 等					
■ 令和6年度取組結果						
実施内容	・図書館資料の収集・整理・保存、資料の閲覧・貸出・情報提供を行った。 ・図書館ホームページにイベント情報や新刊案内等を掲載し、利用促進を図った。 ・中央図書館において、団体貸出や宅配サービス行った。					
実施内容に対する評価	計画の一部を実施した。 (理由)昨年度より、貸出冊数・登録者数は増えたが、目標値に届かなかったため。					
■ 指 標						
指 標	① 市民一人当たりの年間図書貸し出し冊数 ② 市内在住の個人貸出登録者数				計画目標値	①6.0 冊 ②82,000 人
実績値	R 元年度末	R2 年度末	R3 年度末	R4 年度末	R5 年度末	R6 年度末
	①5.35 冊 ②73,959 人	①3.75 冊 ②86,421 人	①4.84 冊 ②73,050 人	①4.65 冊 ②71,541 人	①4.30 冊 ②71,744 人	①4.42 冊 ②72,230 人
■ 総 括 評 価						
実績評価	C 計画策定時の目標を達成できなかった。					
評価についての理由及び総括	①市民一人当たりの年間図書貸し出し冊数 ②市内在住の個人貸出登録者数 については目標設定時より下回っており、コロナ禍後貸出冊数を増やすことができなかった。また非来館型サービスである電子図書館の利用が増えている。					
■ 今後の方向性や課題						
引き続き資料の収集・整理・保存、資料の閲覧・貸出・情報提供、中央図書館(指定管理者)による団体貸出や宅配サービスを実施する。また図書館ホームページ等の活用による利用促進を図る。さらに非来館型サービスである電子図書館を充実させ、市民が活用できるよう周知を行う。						

【3-6-⑤】多文化交流センター事業の推進	
■ 具体的な取組の概要	
推進部署	シティプロモーション課
取組概要	在住外国人への生活等に係る情報の提供や相談への対応、日本語習得や文化交流等の支援をします。 〈実施する事業例〉 多言語情報メールによる防災・生活情報の配信、相談窓口の設置 等
■ 令和6年度取組結果	
実施内容	相談員及び通訳員を配置し、相談業務等を行った。また、多文化交流センターの機能として、八千代市国際交流協会の AMIGO こども日本語教室に交流室を貸し出した。
実施内容に対する評価	計画どおり実施した。 (理由)多文化交流センターの設置目的である、相談業務や日本語の学習支援を行えたため。
■ 総 括 評 価	
実績評価	B 概ね計画どおり実施した。
評価についての理由及び総括	多文化交流センターの設置目的である、相談業務や日本語の学習支援については、計画通り実施できたが、利用者数が減少傾向にあるため、施設の設置場所についても再考する必要がある。
■ 今後の方向性や課題	
在住外国人への生活等に係る情報の提供や相談への対応、日本語習得や文化交流等の支援を継続して行う。	

【3-6-⑥】子育て支援における情報提供の充実						
■ 具体的な取組の概要						
推進部署	子ども支援センターすてっぷ21					
取組概要	親子で安心して遊び、交流する場を提供するとともに、子育てについての相談及び子育て中の家庭が必要な情報を入手しやすい環境の整備に努めます。 〈実施する事業例〉 子育て相談、やちよ子育てハンドブックの発行 等					
■ 令和6年度取組結果						
実施内容	・子育て支援における情報提供の充実を図るため、子ども支援センターすてっぷ21大和田・勝田台及び各保育園併設の地域子育て支援センター3 か所で、遊びと交流の広場を開所し保育士、看護師が相談対応した。また各支援センター担当地域の公民館等で、出前「遊びと交流の広場」を年185回開催し、情報提供の場を提供した。 ・すてっぷ21大和田では施行的に年3回第3土曜日開所し、すてっぷ21勝田台では月1回第3土曜日開所した。主に平日参加できない父親の子育て支援における情報提供に対応した。 ・情報配信には、市のホームページや子育てナビ、各支援センターだよりを活用した。 ・相談件数2,119件、やちよ子育てハンドブック7,000部発行。					
実施内容に対する評価	計画どおり実施した。 (理由) 妊娠期から遊びと交流の広場が利用できることの周知に努めた。親子で安心して遊び、交流する場を提供するとともに、子育て相談及び情報提供を実施し利用促進を図った。また、子ども支援センターすてっぷ21大和田の移転に伴い利用者が増加したことで相談件数も増加した。					
■ 指 標						
指 標	地域子育て支援センターの利用人数				計画目標値	46,535人
実績値	R元年度末	R2年度末	R3年度末	R4年度末	R5年度末	R6年度末
	29,536人	10,652人	15,000人	12,841人	32,000人	45,378人
■ 総 括 評 価						
実績評価	B 概ね計画どおり実施した。					
評価についての理由及び総括	新型コロナウイルス感染症の影響により、保育園併設の地域子育て支援センターを休所した。すてっぷ21においても予約制による人数制限を行ったことで、子育てに関する事業の開催ができず、子育て支援における相談及び情報提供も十分にできなかったため、コロナ禍でも子育て支援についてできることを模索し、家庭で親子が楽しめる「遊び」や「手作りおもちゃ」の動画配信をした。 新型コロナウイルス感染症が5類へ移行後は、親子で安心して遊び、交流する場を提供するとともに、子育てについての相談及び情報提供を充実させた。また、子ども支援センターすてっぷ21大和田が令和6年1月に移転後から利用者が増加し相談件数も増加したことから相談に応じて情報提供するなど子育て支援における情報提供の充実に努めた。					
■ 今後の方向性や課題						
引き続き親子で安心して遊び、交流する場を提供するとともに、子育てについての相談及び子育て中の家庭が必要な情報を入手しやすい環境の整備に努めます。 (八千代市ホームページ、やちよ子育てハンドブックの発行等)						

基本目標4 地域社会と連携し、共に歩む教育への支援

基本方針 4-7 地域社会と連携した教育への支援

○各取組の総括評価結果

2項目 2件

A 計画策定時の想定を上回った	0件
B 概ね計画どおり実施した	1件
C 計画策定時の目標を達成できなかった	1件

【4-7-①】学校運営協議会及び地域学校協働本部の設置・推進・支援						
■ 具体的な取組の概要						
推進部署	生涯学習振興課					
取組概要	地域社会と連携した教育への支援として、学校運営及び学校への必要な支援に関して協議する機関である「学校運営協議会」並びに学習支援等の多様な取組を行う「地域学校協働本部」を設置するとともに、一体的な推進・支援を行います。 〈実施する事業例〉学校運営協議会及び地域学校協働本部の設置・推進 等					
■ 令和6年度取組結果						
実施内容	学校運営協議会及び地域学校協働本部の設置のため、設置準備会の開催。 【令和6年度学校運営協議会設置校】 八千代台小学校, 八千代台東小学校, 八千代台西小学校, 西高津小学校, 南高津小学校, 大和田西小学校, 萱田南小学校, 八千代中学校, 勝田台中学校, 八千代台西中学校, 東高津中学校, 萱田中学校, 阿蘇米本学園 【令和6年度地域学校協働本部設置校】 勝田台中学校, 阿蘇米本学園					
実施内容に対する評価	計画の一部を実施した。 学校運営協議会の設置数は目標を達成したが、地域学校協働本部の設置数が目標に達することができなかったため。					
■ 指 標						
指 標	①学校運営協議会の設置数 ②地域学校協働本部の設置数				計画目標値	①17 校 ②17 校
実績値	R 元年度末	R2 年度末	R3 年度末	R4 年度末	R5 年度末	R6 年度末
	—	—	—	① 2 校 ② 8 校	①6 校 ②9 校	①19 校 ②11 校
■ 総 括 評 価						
実績評価	B 概ね計画どおり実施した。					
評価についての理由及び総括	地域学校協働本部の設置数は目標に達することができなかったが、学校運営協議会の設置を通じて、市内小・中・義務教育学校に地域と学校の協働・連携を推進することができた。					
■ 今後の方向性や課題						
幅広い地域住民の参画を得て、新たな学校運営協議会及び地域学校協働本部を設置するとともに、既存設置校には持続可能な組織となるよう支援を行う						

【4-7-②】防災教育の推進						
■ 具体的な取組の概要						
推進部署	危機管理課					
取組概要	市と学校、地域住民の三者が連携した防災訓練を将来を担う子どもたちに実施し、「自分の命は自分で守る」とする自助の取組みを普及するとともに過去の災害の教訓を伝承し防災教育の推進を図ります。 〈実施する事業例〉防災講話、防災訓練 等					
■ 令和6年度取組結果						
実施内容	八千代台西小学校、萱田小学校、八千代台西中学校、八千代西高校などの学校及び幼稚園や日本語学校などの教育機関と連携し防災教育の一貫で訓練・講話を実施した					
実施内容に対する評価	計画どおり実施した。 概ね計画どおり実施することができた。 日本語学校については村上に新たに開設されるという情報を八千代警察署から情報得て、連携して実施することができた。					
■ 指 標						
指 標	防災教育の実施校数				計画目標値	6 校
実績値	R 元年度末	R2 年度末	R3 年度末	R4 年度末	R5 年度末	R6 年度末
	1 校	1校	4校	4校	3 校	6 校
■ 総 括 評 価						
実績評価	C 計画策定時の目標を達成できなかった。					
評価についての理由及び総括	新型コロナウイルス感染症の影響もあり、計画期間の大半は訓練・講話の依頼が少なく、実施することができなかった。					
■ 今後の方向性や課題						
第4期八千代市生涯学習推進計画においても引き続き取組として位置づけ、要望に対応できる防災訓練・講話の実施に努めたい。						

